

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 25-2-009

補助事業名 平成25年度 知的障害児通園施設の建築 補助事業

補助事業者名 社会福祉法人ならやま会

1 補助事業の概要

(1)事業の目的

障がいのある、あるいは育ちの気になる就学前のお子さまへの療育支援を行う児童発達支援センターが奈良県下には数少なく、既存のセンターが待機児童をかかえるなか、とりわけ県西部に位置するセンターの存在が求められている。

当センターの立地条件がその要望を満たし、県内の待機児童の受け皿の一翼を担いつつ、利用者様の地域の幼稚園、保育園あるいは小学校への就園学につながるための療育支援を提供するために建てられました。

(2)実施内容

知的障害児通園施設の建築 (URL) <http://www.narayamakai.jp/library/library2015.html>

写真

1	2	3
		
<p>・辺りには新興住宅街、田畑、古民家が立ち並ぶのどかな場所にある「くれよん」です。 近くには幼稚園、小学校、中学校、公民館などがあります。</p>	<p>・子どもたちがこの入口でお母さんやお見送りの方と元気にバイバイ。楽しい一日をスタッフとともに過ごします。</p>	<p>・各クラスの保育室です。小集団での療育支援を行います。</p>
4	5	6
		
<p>・行事のイベントや、全体での療育活動などに使います。広くて明るいホールのひとつです。</p>	<p>・日中は学校へ登下校する子ども達であふれていますが、夕方には一気に人気が少なくなります。「くれよん」の灯りが町を照らします。</p>	<p>・二階にある屋上遊技場です。夏にはこの遊技場でプール、水浴びなどをします。</p>

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

近隣地域からの問い合わせも増え、さらに利用が増えることで、より賑わいを増した施設は、療育を受けつつ、地域と交わって過ごすための必要なルールを学べるよりよい環境となる。

また、受け入れの施設が増えたことで、利用を希望する児童が「受け入れを待機」となることなく、地域の幼稚園・保育園あるいは学校への就園学するための支援をよりスムーズに受けることができるようになっていくと思われます。

3 本事業に係る成果物

(1) 本事業に係る印刷物等

くれよん園だより



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人ならやま会(シャカイフクシホウジンナラヤマカイ)

住所： 〒630-8104

奈良県奈良市奈良阪町2532-3

代表者： 理事長 宮崎 勇二 (リジチョウ ミヤザキ ユウジ)

担当部署： 児童発達支援センターくれよん

(ジドウハッタツシエンセンタークレヨン)

担当者名： 施設長 辻村 大輔 (シセツチョウ ツジムラ ダイスケ)

電話番号： 0742-51-6667

F A X: 0742-51-6695

E - m a i l: narayamakai-kureyon@td5.so-net.ne.jp

U R L: <http://www.narayamakai.jp/>